

## 蔵王熊野岳(1841m) 東栗駒山(1433m)

Bランク

【山行日】2022年10月1日(土曜) 天気 晴天、2日(日曜) 晴天

【交通・費用】小林観光マイクロバス(45.6万円、運転手・昼食代6000円/2名、運転手の宿代15000円/2名)、宿泊代13,500円×25名、栗駒入山協力金500円/人、高速代その他23,000円 合計85万円 一人35,000円 集金で千円バック/人

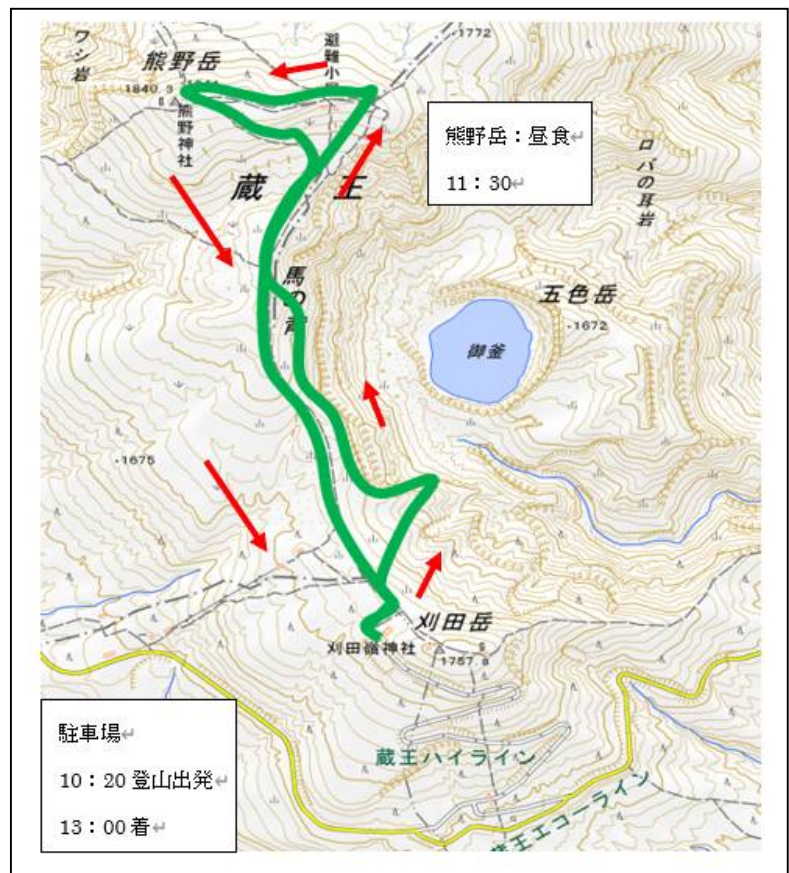
【参加者】25名 CL:Y、SL:K(記録のまとめ)、1班長:K 2班長:S  
3班長:S 4班長:N、会計=K、H 写真=O 会員外2名

### 《10月1日》 記録 K/G

野木町役場=栃木 IC=那須高原 SA=国見 SA=白石 IC=蔵王ハイライン=刈田岳レストハウス駐車場、【蔵王登山】

同駐車場=(山形道)宮城川崎 IC=三本木 PA=古川 IC=鳴子温泉郷=大江戸温泉物語「鳴子温泉・ますや」(泊)

- 5:00 出発
- 5:32 栃木 IC
- 6:35 那須高原 SA
- 8:00 国見 SA
- 8:30 白石蔵王
- 10:20 刈田岳山頂駐車場(右図)
- 11:30 熊野岳山頂 昼食(右図)
- 13:10 刈田岳山頂駐車場出発(右図)
- 14:00 宮城川崎 IC
- 14:40 三本木 PA
- 14:55 古川 IC
- 15:10 セブン
- 15:40 鳴子大江戸温泉物語



野木公民館 5時集合 まだ真っ暗ですが、早くから参加者が集まっています。この日が来るのを、楽しみに待っていました。1日目の山行地蔵王に向けて出発です。

蔵王ハイラインのドライブを楽しみ、山頂駐車場に到着。登山準備を整えて馬の背を目指し進みますが、登山道は石ころがゴロゴロの砂利道歩きずらかったです。しばらく行くとお釜が見えてきました。湖面は吸い込まらそうなエメラルドグリーンの水をたたえ神秘的ですが、周りの火口壁は荒々しく赤茶けています。お釜を眺めながら歩みを進めるとコマクサがわずかに咲き残っていました。

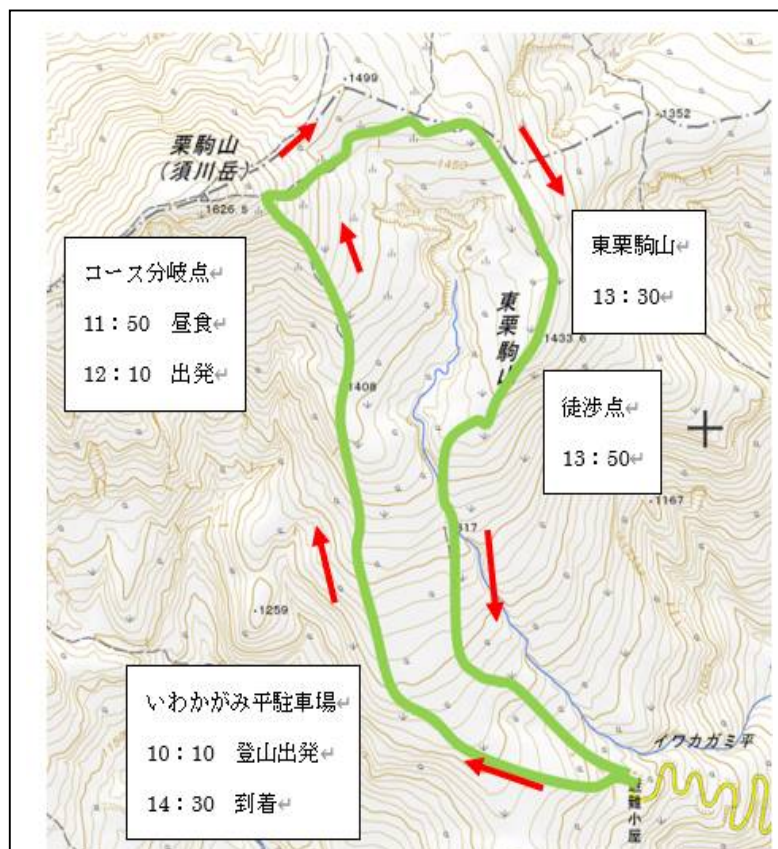
熊野岳の頂上は広く展望よく、遠く鳥海山・月山を一望できました。お釜は日により色が違うようですが、この日は晴天に恵まれ素晴らしかったです。(T S)

## 《10月2日》 記録 K/G

旅館=いこいの村栗駒=イワカガミ平駐車場、【栗駒山登山】

同駐車場=築館 IC=鶴巣 PA=吾妻 PA=那須高原 SA=栃木 IC=野木町

8:00	鳴子大江戸温泉出発
9:50	いわかがみ平駐車場
10:00	いわかがみ中央コース (右図)
11:50	中央コース/東栗駒コンコース 分岐点付近 昼食 (右図)
12:10	東栗駒コース (右図)
13:30	東栗駒山 (右図)
13:50	徒渉点 (右図)
14:30	いわかがみ平着
15:15	いわかがみ駐車場出発
16:45	セブン刈田岳山頂駐車場出発
17:00	築館 IC
17:30	三本木 PA
18:45	吾妻 PA
19:55	那須高原 SA
21:00	栃木 IC
21:35	野木駅



2日目は東北の名峰栗駒山 (1626m) です。秋の空は高く澄み渡り山全体が紅葉となつてその風景は、まるで空に続く絨毯のようでした。

イワカガミ平からの中央コースは、急登ですが歩きやすく途中から視野が開け頂上が見えてきた時は疲れがとんでしまいました。東栗駒分岐からの下りは沢渡りや落差があるため脚立が掛かってあったり変化にとんだコースでした。(O H)

